

# 安 全 報 告 書

2023年版



流 鉄 株 式 会 社

## 1. ご利用のお客様はじめ地元の皆様へ

弊社の鉄道事業に対する皆様の日頃のご利用とご理解に対し、深く感謝申し上げます。弊社は、経営理念の第一として安全の確保を掲げて法令の遵守とともに安全・安定輸送に努めております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、2022年度における安全の実態と輸送の安全確保のための取り組みについて、皆様に広くご理解いただくために公表するものです。

輸送の安全をより一層高めるため皆様からの積極的なご意見をいただければ幸いです。

流鉄株式会社  
取締役社長 小宮山 英一

## 2. 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

1. 安全の確保は輸送の生命である。
2. 規程の遵守は安全の基礎である。
3. 執務の厳正は安全の要件である。

### (2) 安全目標

「運転事故及び輸送障害」ゼロ

今後も運転事故（列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故）及び輸送障害（列車の30分以上の遅延や運休）ゼロを目指して努力してまいります。

### 3. 輸送の安全の実態

(1) 鉄道運転事故

鉄道運転事故の発生はありませんでした。

(2) 輸送障害（列車の30分以上の遅延や運休）

過去5年間の輸送障害の発生件数の推移は次のとおりです。

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
発生件数	4件	6件	7件	6件	7件

2022年度の輸送障害は鉄道施設によるもの4件、乗務員トラブルによるもの1件、自然災害（レール温度上昇）に起因するもの2件の合計7件の発生がありました。

鉄道施設4件のうち1件はレールの損傷のため列車4本を運休しレール交換を実施、3件は流山駅・小金城趾駅間の信号故障によるもので、調査の結果、信号通信ケーブルの不良と考えられたため、同区間のケーブルの交換及びケーブル内載換を実施いたしました。

ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

(3) 災害（地震・積雪・暴風雨等）

施設の被害はありませんでした。

(4) インシデント（事故の兆候）

国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。

(5) 行政指導等及び対応

2020年9月に実施された関東運輸局の保安監査において、改善措置を講じる指示をいただいた3項目については、早急に改善策をたて2項目については措置を済ませ1項目については現在措置中です。

## 4. 輸送の安全確保のための取り組み

### (1) 安全重点施策

#### 車両関係

若葉号全般検査、若葉号車輪交換、若葉号塗装工事、さくら号重要部検査、さくら号車輪交換、さくら号アルカリ蓄電池更新、7両の列車無線機付替え作業、列車無線機基地局の更新

#### 保線関係

第5号-4踏切道付近軌道扛上工事（100m）流山駅・平和台駅間5k330付近レール交換工事、枕木交換72本（枕木交換数並63本、継目用大判3本、分岐6本）

#### 電気関係

流山駅・小金城趾駅間信号通信ケーブル交換及びケーブル内載換工事、小金城趾駅構内上り線トロリ線交換工事（300m）、第29号踏切道ケーブル修繕、踏切道用鉛蓄電池交換工事（3か所）、西平井変電所施設検査



(参考・保守作業、点検の様子)

### (2) 人材教育

#### ア. 運転士の養成

計画的に運転士の養成を進めており、2022年度は動力車操縦者運転免許＝電車運転士免許の国家試験に1名が合格しました。

#### イ. 社員研修

- 年度計画に沿って社員の研修を実施しています。



(参考・訓練の様子)

- 交通エコロジー・モビリティ財団主催の「交通サポートマネージャー」認定研修に6名が参加し講習を修了しました。
  - 「運輸安全マネジメント研修会」及び「運転適性検査員講習会」に各1名が参加し講習を修了しました。
- (3) 安全のための投資と支出  
安全の維持・向上のため、2022年度は営業収入の約3割を安全関連設備への投資や施設及び車両の修繕費に充てております。
- (4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策  
電車内へより効果の持続する抗菌加工を継続しました。
- (5) その他
- 流星号にドライブレコーダーを設置いたしました。
  - 「こども 110 番の駅」の取組みに参加し、安心して駅を利用することが出来る環境づくりを目指しております。
  - 駅及び駅周辺で急病人が発生した場合の救命処置のため、全駅にAED(自動体外式除細動器)を設置し、社員への取扱い研修を実施しております。

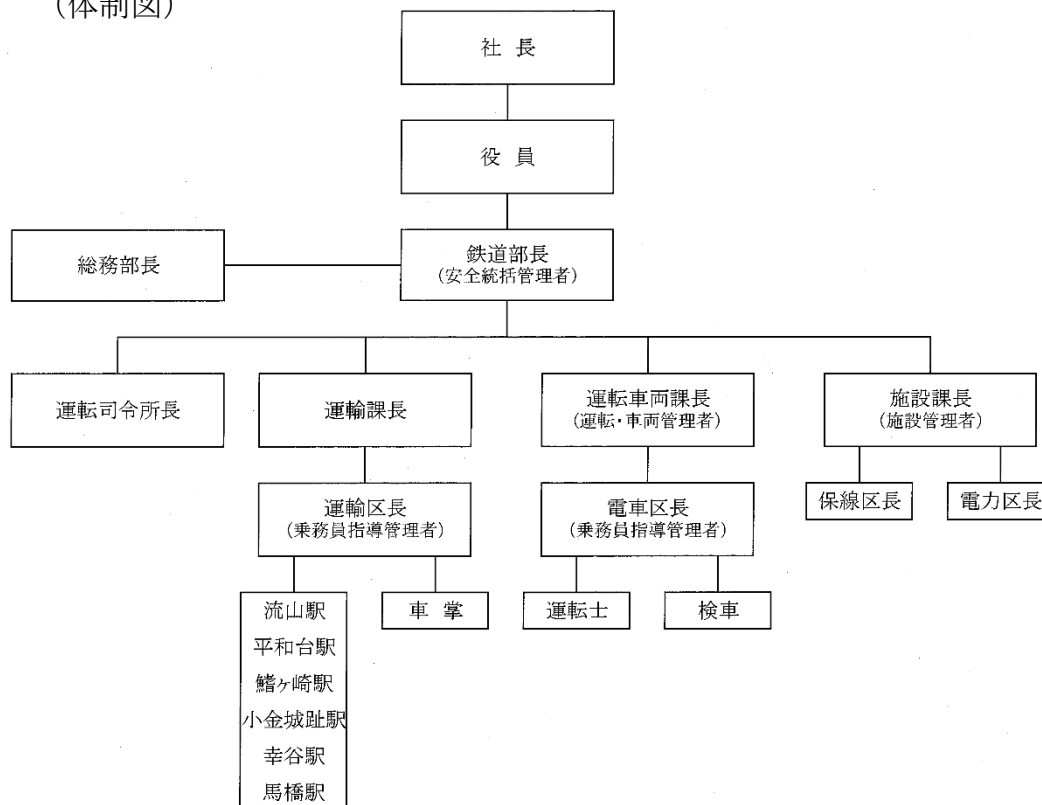
## 5. 安全管理体制

社長をトップとする「安全管理体制」を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

(役割)

社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を有する。
安全統括管理者 (鉄道部長)	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
運転・車両管理者 (運転車両課長)	安全統括管理者の指揮の下、運転及び車両に関する事項を管理する。
施設管理者 (施設課長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を管理する。
乗務員指導管理者 (電車区長・運輸区長)	運転管理者の指揮の下、運転士または車掌の資質の保持に関する事項を管理する。
総 務 部 長	設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

(体制図)



## 6. ご連絡先について

安全報告書への感想、ならびに当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

〒270-0164 千葉県流山市流山一丁目264番地  
流鉄株式会社 総務部  
TEL 04-7158-0117  
(土日祝日を除く9時～17時)



流鉄キャラ りゅうのしん